

ふえにつくすのご紹介

「ふえにつくす」の紹介をさせていただきます。皆さんは当院駐車場入り口にあるログハウスの建物をご存知でしょうか？雑貨屋さんのような・喫茶店のような・一度入ってみたい・そう思わせる雰囲気のある建物が「ふえにつくす」です。ここでは、患者さん(メンバー)を中心に喫茶活動をしています。メンバーはお互いに協力しながら運営し、各々の社会復帰を目指す、当院独自の施設です。



その歴史は古く、『病棟ではなく、くつろげる場所として患者の家をつくってほしい』という患者さんたちの要望に対して、患者さん・職員・家族会の方たちが「患者の家建設委員会」をつくり、1976年(昭和51年)に設立されました。当時はまだ自主活動・自助活動というものは世間に定着しておらず、先駆的存在でした。



現在は登録メンバーが23名。ボランティアやバザー用品の提供など地域の方たちの協力もいただきながら運営しております。「心が安らぐ場」「仲間同士お互いに支え合う場」「皆で考えて皆で決める場」「職員と患者さんが対等な関係である場」「地域の方たちとの交流が持てる場」として、メンバーを中心に今後も続けていきたいと思っております。

～木のぬくもり、心のオアシス、ふえにつくす～
是非一度ご利用ください。ふえにつくすメンバー一同、自慢の美味しい珈琲を用意して皆さんのお越しをお待ちしております。

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

- 診療科
精神科・神経科・神経内科(要予約)・歯科(要予約)
- 院長
鈴木洋文
- 外来診療時間
平日 9:00～12:30 (月曜日のみ 9:30～12:30)
土曜日 9:00～12:30 (午後は予約制)
- 休診日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日(創立記念日)
- 所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503
ホームページ: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp



千葉病院 患者様の権利

- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護されます。

編集後記

発行: 医療法人同和会 千葉病院
発行日: 平成24年7月31日
住所: 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL 047-466-2176 Fax 047-466-7503
URL: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/

ういんぐ =WING=

千葉病院広報紙 2012. 盛夏号 (第38号) 発行者 医療法人同和会 千葉病院



写真は昨年の盆おどりの様

千葉病院夏のイベント 盆踊りのご案内

千葉病院の夏を彩る恒例行事『盆踊り』。今年も、無料の焼きそば(千葉病院名物!)をはじめ、人形釣り、ミニゲーム、カキ氷などの模擬店や、太鼓の演奏など、暑さを忘れてにぎやかに、華やかにいきます。皆様、奮ってご参加ください

日時: 8月8日(水)
会場: 同和会千葉病院院庭(お祭り広場)・駐車場

※雨天の場合、会場が変更になります

近隣の皆様には、音楽などでご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください



被災地支援活動 その後

昨年3月に発生した東日本大震災では、当院も被災地に医師やスタッフを派遣して、医療支援活動を行いました。当院の佐藤寿美子看護師は、災害当初から個人でボランティア活動に参加し、現在に至るまで継続的に支援活動を行っています。また、本年5月には、支援活動に参加したスタッフ一人ひとりに、日本医師会より表彰状が贈られました。

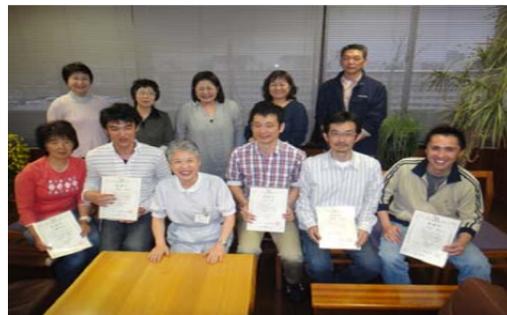
2011年3月11日、東日本大震災の発生は、今まで経験したことのない衝撃が心に刻まれた忘れられない日となりました。報道で、現地の状況を目の当たりにするうち、何か自分に出ることは無いかなと考えるようになりました。

震災支援を行っているNPO団体に連絡を取り石巻市内避難所での活動に参加させていただいたのを始めとし、それから1～2回/月程度ではありますが東北へ足を運び、側溝や家屋の泥出し、避難所での活動、田畑での流された物の撤去作業や土おこし等の活動をさせてもらっています。

震災から1年以上経ちますが、依然として人手を必要としている状況には変わりはありません。仙台市若林区で農業支援活動を行っている『ReRoots』さんによると、今年参加されたボランティア人数の推移は1月280人、2月419人、3月1783人、4月1902人、5月881人(5/15付)。現在30件以上の依頼案件があり、1件あたりおよそ100人程度は必要で、現在の案件をこなすだけでもおよそ3000人程度必要と思われる、更にこなしても次の案件が依頼される状況だそうです。個人的にも出来るだけ続けていければ・・・と考えています。(佐藤寿美子)



写真左：被災地の現状。2012年5月3日、鈴木院長撮影



写真下：日本医師会の表彰を受けた看護スタッフと各病棟棟長

千葉病院Drによる医療コラム 第11回

薬物依存症について

千葉病院医師 谷淵 由布子

依存症関係の話を書かせていただき、今回で3回目になりました。

ところでみなさんは、薬物依存症者ってどのような人を想像しますか？「よだれを垂らして、ろれつが回らなくて、目が血走っていて、廃人みたいな人ですかね～」といった感じでしょうか？それは違うのです。確かに、そういう人もいるかもしれませんが・・・が・・・最近逮捕された芸能人などは、そのような風貌だったのでしょうか？違いますよね、わりと普通ですよね。実は、薬物依存症者とは、見た目にはどこもおかしくない人ばかりです。ただ、強い渴望にうち勝てずに、薬物に手を出してしまう人なのです。違法薬物で逮捕された芸能人は必ず、「もう二度とやりません」という記者会見がありますね。しかし、少なからぬ人が再び薬物をやってしまい、再逮捕されます。そのたびに「またやったのか！」「刑務所まで行ったのに、懲りないな。」「もうダメだな～」などと言われます。「違法薬物依存者は、違法行為をしたのだから、刑法で罰せられるべきだ。」という理論は正しいのですが、薬物依存症とは、「精神保健福祉法」という法律で規定されているれっきとした精神疾患なのです。

逮捕されて懲りれば、刑務所に行けば、精神疾患は治るのでしょうか？違法行為を行ったことは反省すべきことですが、依存症は治療をしなければ治りません。医療従事者は、刑務所内であろうが、病院であろうが、薬物依存者には「治療」を提供する姿勢が大事だと思います。

薬物関連問題の最近の動向としては、依然としてわが国では伝統的に覚せい剤が多いのですが、70年代からはやり始めた「シンナー遊び」はすたれ、芸能人や大学生の報道もあるように大麻が増えています。そして、脱法ハーブに代表される脱法ドラッグも急増しています。脱法ドラッグは脱法であり、違法ではないため、安易に手を出す若者が増えています。人体への害についてはほぼ未知であり、非常に危険です。自分の体で人体実験をしているようなものです。現在、国や自治体は規制に向けてさまざまな取り組みをしており、すでに麻薬指定された物質もありますが、法の目をくぐりぬけ、次々に登場する脱法ドラッグを、完全に取り締まることは困難です。違法、脱法、合法は関係なく、依存性のある薬物とその依存症に対して、「だめ。ゼツタイ！」だけではなく、正しい情報の流布が必要だと思います。

栄養科

栄養科 管理栄養士 塩澤七奈

こんにちは。栄養科です。

栄養科の仕事内容、皆さんもご存知と思いますが・・・
 そうです！患者様に朝・昼・夕のお食事を提供しています。では、約1日分の食数はどのくらいかご存知ですか？
 千葉病院の栄養科は、毎日厨房で、1日約1,000食のお食事を朝・昼・夕、患者様に、お昼については職員にも提供しています（写真は調理場の様子）



また、当院では月に一回、管理栄養士が立てた献立ではなく、シェフが考えた自慢の献立を提供しています。なかなか、病院食では味わうことのできない、香辛料や調味料等を使用して病院食に変化をつけています。

門別シェフメニュー

- カレーピラフ
- カレー風チキンソテー
- ミニサラダ
- かぼちゃの冷製スープ
- 巨峰

～シェフからの一言～
 美しい彩りにこだわって作りました。
 目と舌で楽しんで食べてください。

美しい彩りにこだわって作りました。
 栄養科で行われた試食会でも大変好評でした。皆さん是非楽しみにしてください。



左：シェフメニューの広告。
 上：毎月発行される『院内報』にて、次月のシェフメニューが、担当シェフのコメントとともに紹介される。

さてさて、栄養科では患者様に食事を提供するだけでなく、3ヶ月に一回の栄養管理スクリーニングを実施して、患者様の栄養状態を管理しています。

栄養管理スクリーニングとは？

血液検査の結果・食事摂取状況・カルテや看護日誌に記載されている内容より、患者様一人一人の栄養状態を知り、患者様個人のリスク＝栄養状態の問題点を取り上げ、栄養科だけではなく、医師・看護・その他の部署の職員と連携して改善していこうという取り組みです。早期回復につながるよう、リスクが高い患者様については1ヶ月後の再評価。中リスクの患者様については2ヶ月後の再評価をしています。

簡単ではありますが、栄養科の紹介をさせて頂きました。
 栄養科一同、日々患者様のため、家庭的で安全な食事が提供できるよう努めていきます。